

平成27年4月13日
受信環境クリーン中央協議会

電波障害防止に関する功労者の表彰について

— 個人6件、団体1件に対し —

受信環境クリーン中央協議会（会長：竹田義行 一般財団法人情報通信振興会理事長）は、電波障害防止に関し、顕著な功労のあった次の個人に対して表彰を行うこととしました。

なお、表彰式は、来る4月16日（木）午後5時15分からKKRホテル東京「孔雀の間」で行う予定です。

【個人】

（順不同、敬称略）

表彰の種類	被表彰者	実績の概要	推薦委員
表彰状 （永年の努力・功績）	なかむら かずき 中村 一城 （（公財）鉄道総合技術研究所 信号・情報技術研究部 主任研究員）	<p>鉄道沿線における電波雑音強度や放送波強度の測定・評価は、列車通過や鉄道外からの要因等を考慮しながら実施する必要があり、高度な技術力が要求されるうえ、時間・労力のかかる技術課題である。さらに、鉄道用の国際規格にも準じた評価を行う必要もあり、測定技術だけでなく規格にも通じていなくては遂行できない。</p> <p>長年にわたり沿線での測定・評価だけでなく技術的な提案・指導を行ってきており、鉄道沿線における受信環境の保全への貢献は大きなものである。</p>	国土交通省
表彰状 （永年の努力・功績）	よしの みつなり 吉野 光成 （日本電設工業（株）ネットワーク工事部マルチメディアグループ 部長）	<p>入社2年目にCATV事業会社に出向して以来、テレビ電波受信障害対策業務に携わり、2015年1月現在までの17年間テレビ電波受信障害対策のエキスパートとして積極的に努めてきた。</p> <p>東日本旅客鉄道（株）から受託した、東北・上越新幹線沿線の地上デジタル放送の電波受信状況の基本調査及び新幹線沿線居住者の地上デジタル放送受信障害に関する補償計画の策定並びに地上アナログ放送の補償共聴施設の改修・撤去に関して、首都圏エリアの現場指揮者として、地上デジタル放送の受信状況を調査し端子電圧や等価C/N等から受信評価する仕組みを確立するとともに、同新幹線の地上アナログ放送補償共聴施設である544組合、約11万2千世帯を対象とした地上デジタル放送の受信評価データを纏めあげた。</p> <p>その後、東日本旅客鉄道（株）の計画に基づきサイマル放送の実現に努め、地上アナログ共聴施設の加入者への説明会を積極的に開催して、地上アナログ放送から地上デジタル放送への完全移行に貢献した。</p> <p>地上アナログ放送補償施設で不要となった施設の撤去工事では、福島原発事故により放射線量の高い地域で、撤去した同軸ケーブル等が高い放射線量の値であったので、処分場で受け入れ可能な値になるまで高圧洗浄等を行い、安全、かつ、円滑な地上デジタルへの移行を予定通り完了した功績は大である。</p>	東日本旅客鉄道

感謝状 (永年の努力・功績)	平野 幸男 (元 横河電機株)	日本アマチュア無線連盟東京都支部監査指導委員長(昭和46年～昭和51年)、電波適正利用推進員(平成18年～現在まで8年8ヶ月)を通して、受信障害対策を住民に啓蒙し、防止活動に積極的に参加した。	日本アマチュア無線連盟
表彰状 (永年の努力・功績)	鈴木 ヨシ子 (株)蒲田ラボ 代表取締役)	昭和60年の株式会社蒲田ラボ設立時より取締役として、平成13年からは代表取締役として、30年の長きに亘り、数少ないテレビ電波受信障害調査の専門会社として会社を運営してきた。 平成元年に(社)日本CATV技術協会に入会後、関東支部調査部会の会員として数多くの建造物によるテレビ電波受信障害調査を実施し、平成17年関東支部調査部会幹事に就任後は、日本CATV技術協会発行の「建造物障害予測の手引き(地上デジタル放送)」等の編集に携わるなど、各委員会・部会等を通じて長年に亘りテレビ電波受信障害改善の普及向上に貢献した。	日本CATV技術協会
表彰状 (永年の努力・功績)	町田 啓一郎 (元NHK職員)	昭和35年に日本放送協会弘前放送局へ入局後、約半世紀に亘って、放送受信環境維持と改善の最前線で活躍した。特に、建造物障害の解消や難視聴地区の受信改善に精力的に取り組み、電気雑音による電波障害の解消を図ると共に自治体への建築指導要領や条例制定への働きかけを積極的に行う等、電波障害の未然防止につとめた。また、平成8年からは仙台CATV(株)に入社し、仙台市内の高層ビル建設に伴う建造物障害を防ぐため、都市型ケーブルテレビの設計施工やテレビ受信障害対策工事に携わった。平成20年からは、総務省宮城県テレビ受信者支援センターで、高度な知識と豊富な経験を活かし、宮城県のみならず東北各県の周知啓発、受信者指導、現地調査等に尽力し、地上デジタル放送の受信環境整備に大きく貢献した。加えて、「雑音防止協議会」の時代から、青森県、宮城県、岩手県における地域連絡会事務局及び秋田県における協議会幹事を務めるなど、長年に亘って本協議会の円滑な運営、活動の推進に大きく寄与した。	東北受信環境クリーン協議会
感謝状 (永年の努力・功績)	岡村 真一 (松山市立宮前 小学校 教頭)	「受信環境クリーン図案コンクール」の審査委員を第38回(平成17年度)から第47回(平成26年度)までの間で、通算10年間担当し、四国受信環境クリーン協議会の図案コンクールの入賞作品の選考に多大な貢献をした。審査の遂行に尽力された。	四国受信環境クリーン協議会

【団 体】

表彰の種類	被表彰者	実績の概要	推薦委員
表彰状 (電波障害防止図案コンクールに関するもの)	下北造形教育研究会	長年にわたり「受信環境クリーン図案コンクール」に於いて、本研究会の会員である美術担当教諭の卓越した指導により、管内中学校から優れた多数の作品応募があった。これらの作品は、中央協議会及び東北協議会で多くの作品が入賞しており、受信環境の維持・改善に関する周知啓蒙に大きく貢献した。	東北受信環境クリーン協議会

<参 考>

受信環境クリーン中央協議会では、本件表彰を昭和34年(1959)から毎年実施しており、今回で57回目となります。

連絡先：受信環境クリーン中央協議会 事務局
（一般財団法人 情報通信振興会内）
（電話03-3940-3981）